

# 東大阪市教育委員会令和２年８月臨時会

1 日 時 令和２年８月２４日（月）

開会 午後２時００分

閉会 午後５時００分

2 場 所 市庁舎１８階 会議室１及び会議室２

3 出席者 （委員）

|          |         |
|----------|---------|
| 教育長      | 土 屋 宝 土 |
| 教育長職務代理者 | 堤 晶 子   |
| 委 員      | 村 上 靖 平 |
| 委 員      | 山 中 雅 仁 |
| 委 員      | 秦 卓 宏   |

（出席説明員）

|          |         |
|----------|---------|
| 教育次長     | 大 原 俊 也 |
| 教育次長     | 諸 角 裕 久 |
| 学校教育部参事  | 森 田 好 一 |
| 教育政策室長   | 永 吉 勝 則 |
| 人権教育室長   | 竹 中 重 雄 |
| 教育センター所長 | 中 淵 一 博 |

（出席補助説明員）

|           |         |
|-----------|---------|
| 学校教育推進室次長 | 楠 田 晃 久 |
|-----------|---------|

#### 4 議 事

##### 【土屋教育長】

ただ今から、東大阪市教育局令和2年8月臨時会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は堤教育長職務代理者をお願いいたします。

本日の会議でございますが、日程第1「議案第38号 令和3年度使用東大阪市立中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）教科用図書採択の件」を議題といたします。

それでは、議案の説明をお願いいたします。

##### 【大原教育次長】

それでは、議案の説明をさせていただきます。

日程第1「議案第38号 令和3年度使用東大阪市立中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）教科用図書採択の件」につきましては、5月の定例教育局にて、令和3年度使用東大阪市立中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）教科用図書は「東大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会より答申を受け採択する。」との採択方針及び選定委員会への諮問についてのご決定を賜りました。

これに基づきまして、添付のとおり、選定委員会より8月11日付で答申がございましたので、本日、令和3年度使用東大阪市立中学校（義務教育学校の後期課程を含む。）教科用図書につきまして、採択をいただくものでございます。

以上でございます。何卒、よろしくご審議のうえ、ご決定を賜りますようお願いいたします。

##### 【土屋教員長】

それでは、次に諸角教育次長より選定委員会の経過等についての説明をお願い致します。

##### 【諸角教育次長】

それでは、説明をさせていただきます。まず、令和2年5月19日に第1回の選定委員会を開催いたしました。その中で、本市立の義務教育学校後期課程を含む中学校において令和3年度から4年間使用する教科用図書及び当選定委員会が諮問を受けた内容を確認いたしました。また、選定委員会内に各種目の部会を設け、そこに3名の調査員を置き、専門的な調査研究を行い、報告書を作成するように指示いたしました。各種目3名の調査員は、教育専門職としての経験を十分に活かした調査研究に励み、令和2年5月25日の第1回調査員連絡会及び令和2年6月30日の第2回調査員連絡会を経て調査員報告書を作成し、当委員会に提出されました。そして、当委員会は、調査員報告書を基に他の資料も参考にして、令和2年7月16日の第2回選定委員会及び同年7月22日の第3回選定委員会を経て、教育局への答申を作成しました。教育局への答申及びその内容は議案書に添付している資料のとおりです。

##### 【土屋教育長】

選定委員会の審議の経過及び内容について、ご質問はございませんか。

### 【各委員】

(なしの声あり)

### 【土屋教育長】

それではこれより各教科の採択を行ってまいります。採択の流れにつきましては、まず選定委員会での発行社毎の意見及び概要を述べていただいた後、各委員から東大阪市で使用する教科書として相応しい教科書についてご意見をいただき、そのうえで議論を行い、採択する教科書を決定してまいりたいと思います。それではまず、国語の教科書の採択に入ります。国語の教科書について、選定委員会での主な意見の概要を報告してください。

### 【諸角教育次長】

まず、全体を通したことについてご説明させていただきます。特に今年度においては、新型コロナ感染対策のための一斉臨時休業が行われるなど、家庭において生徒が自ら学ばなければならないという状況を目の当たりにしました。GIGAスクール構想の前倒しにより、次年度からは1人1台のICT機器が配備され、一層生徒自らが主体的に学ぶことが必要となるであろうことなどを踏まえ、教員が「教える」ための教材という視点に加えて、生徒自らが「学ぶ」ための教材としての工夫や、支援が必要な生徒にとっても配慮がなされているかという視点も持ちながら協議したことを前段として報告させていただきます。

それでは国語についてです。国語の教科書を各社見比べて、どの社も生徒が主体的に学ぶための工夫がなされておりました。その中で特徴的だったのが、「思考ツール」を用いて意見や考えを整理していくことを積極的に押し出している教科書の存在です。また、日常生活と結びつけた学びとなるような単元を設けているもの、読書指導に重点を置いているものなど、各社それぞれの特徴がありました。学習支援という観点では、示したい行の位置が瞬時にわかるように、行番号に加えてドットを振ることで視覚支援をしている社もありました。

### 【土屋教育長】

それでは、先程申し上げましたように、各委員から、東大阪市の採択教科書として相応しいと考えられるものを述べていただき、その上で議論をすすめていきたいと思います。それでは国語の教科書について、堤教育長職務代理者からご意見を述べていただきたいと思います。

### 【堤教育長職務代理者】

私は三省堂と光村図書をあげさせていただきます。三省堂は、単元ごとにグループディスカッションが設定されており、実生活でも活用されているメールやSNSなどを取り上げて、系統立てて話し合いの方法を学習できる工夫がなされています。また、内容についても、現代の課題について考えられる教材が整っていて、それを学習する際は見通しをもって学習することが可能だと思います。読書活動も主体的に行えるよう、また、語彙力を培うような工夫もなされています。光村についてですが、現代社会において必要な情報を

整理し、発表をできる能力を育む工夫がなされています。1つずつの教材の取り上げ方も優れていると思います。

#### 【村上委員】

まず光村図書をあげさせていただきます。まず巻頭の学習の見通しを持とうというところから始まり、思考の地図、この教科書で学習する皆さんへと並んでいます。特に最初の学習の見通しを持とうというところでは、主体的に学べるように学習のポイントが一覧でまとめられていて非常にわかりやすいと思いました。また、次の思考の地図では、様々な思考法が示されており、利用しやすいと思いました。また、それぞれの作品の最後に、学習ということで、これも見通しを持つというところから始まり、何段階か経て、最後振り返るというところまであり、それが一貫して示されていて学習過程がわかりやすいと感じました。この点は三省堂も同じような流れで、そのようなところが良いと思います。それから内容でいいますと、情報社会に生きるという項目があり、1年では情報集めよう読み取ろう、2年ではメディアを比べよう、3年では報道文を比較して読もうなど、いわゆる情報を見極める力が育成されるような内容になっています。また巻末には、さらに学習を広げるというのがありまして、多様な教材、作品、資料があり、まず光村図書を推薦したいと思います。その他には、先ほども申し上げましたが、学習過程がわかりやすいということで三省堂も良いと思います。三省堂の方は、巻頭に領域別教材一覧が示されており、ここでつけていきたい力が一目瞭然となっています。それから三省堂は、話す・聞くというところで、グループディスカッションというのが各学年に設定されています。1年ではスピーチ、2年ではプレゼン、3年では、パブリックスピーキングと、話し合いの方法がそれぞれ示されて、具体的にかつ深く話の内容が学習できて良いのではないかと思います。

#### 【山中委員】

私も光村図書を推薦したいと思います。両委員からの意見と同じようなところではありますが、現代社会において情報取扱うスキルはもう不可欠です。多くの情報、情報を取扱うスキルに関する内容が系統的であって大変良いと思っております。また、思考の地図にあるように、1年間の修学の見通しや課題の解決のプロセス、自分の考えを深める主体的な学びにしっかり対応しているものだと思っております。

#### 【秦委員】

私はまず教育出版を推薦したいと思います。メディアと表現でメディアリテラシーはなぜ必要かというところがあって、それを学ぶことでこれからの時代、特に今スマホ等で自らが発信できるツールがある世の中で自分のその発信根拠となるものをきちんと学習するというものの大切さを考える機会になると思います。また、地域から世界へというところを学ぶことで、様々なものづくりをしている東大阪が、それを世界に発信していくという非常に大切な機会になるのではないかと思います。もう一つは光村図書ですが、他の委員が仰ったことの他に聞き上手になろうというところがあり、自分の意見ばかりを言うのではなく話を聞くことに注目をされているというところは、非常に評価できる部分だと思います。

【土屋教育長】

先ほど諸角教育次長からも説明があったように、各教科書とも生徒が自ら学んでいくという昨今の状況があり、その工夫がなされていると感じています。その中で、名前は出版社によって少し違いますけれども、各教材の後にその教材についてどのように学ぶか、教材をベースにしながら、様々な設問を生徒に考えさせる項目を立てています。これは基本的にはどの社も同じような形になっておりますけれども、その内容を見てみますと、東京書籍と光村図書、この2社が、非常に課題の設定の仕方が丁寧で適切であると思いました。加えまして、これはどの教科書もそうなんですけれども、書く、話す、あるいは話し合う、そういう項目についてそれぞれまとめたコラム的な単元を設けていて、その設定もこの2社については特に適切ではないかと思いました。この上で、この2社について特徴的なことを申し上げますと、光村図書につきましては、各章の課題が適切に設定されていて、そのことを含めた教材がバランスよく配置されている印象があります。また、光村図書はレイアウトあるいは写真等、視覚的な工夫がなされていてわかりやすいと思います。一方、東京書籍は先ほど申し上げました、書く、話す、話し合うなどコラム的な内容、あるいは課題の設定が非常にわかりやすく丁寧であるということで、生徒たちが学ぶという意味では使いやすい教育教科書であると考えております。そういう意味で申し上げますと、やや三村の課題は難しくはないかなという印象もございましたけれども、この2社とも教科書として優れているという印象を受けております。

そういうことで私の意見は述べさせていただきましたけれども、各委員から意見をいただいた中で、それぞれ補足的に発言はございますでしょうか。

【各委員】

(発言なし)

【土屋教育長】

少しそれぞれの推薦する視点は違うのもあるかと思いますが、すべての委員が何らかの形で光村図書が東大阪市で使用する教科書としてにふさわしいのではないかと、こういうご意見を持っておられました。よって、国語の教科書については、光村図書の教科書を採択することよろしいでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

ご異議ないようでございますので、国語につきましては、光村図書を採択いたします。それでは続きまして書写の採択に移ります。諸角教育次長から説明をお願いします。

【諸角教育次長】

書写の教科書を各社見比べて、どの社もQRコードを通して実際に書いている動画にアクセスできるなど、生徒が主体的に学ぶための工夫がなされていました。比較する上で最

も特徴的だったのは、別冊ノートの有無です。別冊が無い代わりに教科書に直接書き込めるような工夫もありました。また、取り上げている筆記用具の種類にも若干の差がありました。学習を進めていく上で自らの学びを振り返るための工夫にも各社違いがあり、特徴的でした。他にも、ポスターや横断幕に字を書くなどの学校生活の中での書の活かし方を取り上げている社もありました。

#### 【土屋教育長】

それでは、書写について、村上委員から意見をいただきたいと思います。

#### 【村上委員】

私は書写も光村図書を推薦したいと思います。大きさがB5版ということで、非常にコンパクトで使いやすいと思いますし、別冊の書写ブックが教科書と対応していて、非常に活用しやすいと思います。これは三省堂にもありますがアルファベットも使われているということとか、これも他社にもありますが日常に役立つ書式ということで、実社会に役立つ内容が豊富ではないかと思います。また、手紙とか葉書だけでなくメールも取り扱っているところが良いと思います。次に教育出版ですが、先ほどの光村図書ですけど、冒頭に各教材ごとの学習の進め方がわかりやすく示されており、また、教育出版の方は冒頭に自分に合わせて書こうというのがあって、目的必要に応じて筆記用具を選んで様々な工夫ができるのではないかとということや、筆記用具の取り扱いが非常に多いということ、あるいは学習活動や日常生活に生かして書こうというのがあり、様々な活用方法や活用例が示されており良いのではないかなと思います。

#### 【山中委員】

1番に評価したのは光村図書です。学習に対するテーマごとに配置されており、大事な目的と目標が明確であると思います。それと、2番目に選んだのは教育出版です。非常に身近なことを取り上げておりまして、興味を引き出す工夫がなされていると評価いたしました。

#### 【秦委員】

私はまず教育出版を選びました。実生活において使える例が多くある点、例えば運動会発表会等の看板です。最近ではプリントアウトしてすぐにできてしまうんですけども、手書きでできるというその暖かさというのが伝わるような、そういうことがわかりやすいという意味で、まず教育出版を選びました。もう一つは東京書籍ですけども、こちらは学年ごとに沿っているということと、同じく実生活において使える例が多くある点ということで馴染みやすいと判断をさせていただきました。

#### 【堤教育長職務代理者】

東大阪市の教科用図書選定委員会の調査員報告書の中でもあるように、障害その他の多様性のある子ども達にとって、ユニバーサルデザインやユニバーサルカラーデザインなど様々な配慮を、各社が工夫をしていただいています。三省堂は、書写の写真で様々な子ど

も達の写真やキャラクターがでてきますが、その性別にも配慮されています。それから、イラストがわかりやすく提示してありますので、子ども達が日常的には関わりが少なくなっている部分ですけれども、学びに向かっていく工夫があるのではないかと思います。もう一社は教育出版です。このIT社会の中で、手書きの文字の良さであるとか、日本の文字文化を知り、大事に思う気持ちを育ててやりたいと思います。教育出版では日本の文字文化がテーマとして取上げられており、各地域のシンボルである城址写真のコラムでお城の石のところに文字が彫ってあるなどのような写真が掲載されています。非常に多面的な視点から、地域の城にある歴史的な文字を見ることができるので、地域愛や地方創生に繋がる気持ちの醸成ができるのではないかと考えまして、評価させていただきました。

#### 【土屋教育長】

書写の教科書の採択に当たりましては、ひとつは書写ですので、筆遣いが生徒にとってわかりやすく説明されているかどうか、こういうところを中心に見て参りました。その上で、光村図書と教育出版が丁寧な説明になっていると評価しております。この2社をについて比較いたしますと、先ほど来、各委員からもお話ございましたけれども、光村図書については、書写ブックというワークブック形式の物がついておりまして、生徒が書写を行ううえで、非常に実用的な添付資料があるところが特徴であると思っています。また、光村図書につきましては、各ページの情報量が精選されておりまして、書写の教科書としてはここが使いやすい、という評価をしていいのではと思っています。また、教育出版でございませけれども、これも先ほど来、各委員の方からお話ございましたけれども、例えばポスターであるとか、新聞を作るであるとか、生徒が実際に文字を使った制作をする際の実践的な内容が含まれておりまして、書写が発展的にその内容を学んでいける、そういうところに特徴があると思います。これが私の意見で、この2社を推薦するところでございます。

各委員のご意見をいただく中で、少しまとめさせていただきますと、教育出版については、ほぼすべての委員が何らかの形で評価されております。光村図書についても、評価をされている委員が多いわけなんですけれども、各委員とも教育出版の実践的と申しますか、例えばポスター制作など実際に文字を書くというところに力点を置いて考えていただいているのかなと思います。そういうことから申し上げますと、すべての委員がそのあたりを評価をしておられるということですので、書写につきましては教育出版を採択するという事でよろしいでしょうか。

#### 【各委員】

(異議なし)

#### 【土屋教育長】

ご異議ないようでございますので、書写につきましては、教育出版を採択いたします。それでは続きまして地理の採択に移ります。諸角教育次長から説明をお願いします。

#### 【諸角教育次長】

地理について報告させていただきます。地理の教科書を各社見比べて、どの社も生徒が主体的に学ぶために独自の工夫がなされていることがわかりました。それは、巻頭に「この教科書の使い方と学び方」というページを設け、課題設定、追求、解決、発展探求といった大きな流れはどの社もよく似ているのですが、そのマークやタイトル、リンクの張り方などに個性が強く出ていました。コラムなど、プラスアルファとして取り上げる題材なども各社に特徴が見られました。共通点としては、どの社にも東大阪市に関する記述がありました。

#### 【土屋教育長】

それでは、地理について、山中委員から意見をいただきたいと思います。

#### 【山中委員】

私は帝国書院を推薦したいと思います。地理的な見方や考え方について、俯瞰的に物事を捉えることから始めていること、そして節の振り返りにおいては、一貫した学びの型があり、先ほど来から話があります主体的な学びを進めやすくなっているということの評価いたしました。また、東京書籍もよかったと思います。学んだことを個人的な研究はもちろんのこと、クラスメイト対話的に深く考えさせる内容になっている点の評価いたしました。

#### 【秦委員】

私は帝国書院を推薦したいと思います。その理由として、その街を誇りに思えることが書いてあるということ、それから、ハザードマップの読み方等が書いてあるという点、また地理プラスでは、現在どのような出来事があるのかをより知るきっかけになるということ、そして、中小企業について多く書かれているので、東大阪に通ずるものがあるのではないか、と理解しました。次に日本文教出版ですけれども、東大阪を含むいろんな地区の特産品が出ているということと、これからの話になりますが、関西万博のことが取上げられているという点で評価をさせていただきました。

#### 【堤教育長職務代理者】

私は1番に東京書籍を推薦したいと思います。地理は情報量が多いものですから、視覚情報が単純で、必要な情報がすぐに取りれることが必要です。また、課題型解決学習の流れが非常によくできおり、子ども達が学びやすいと思いました。特設ページやコラムも掲載され、持続可能な社会の実現のために解決すべき諸課題について関連付けて考えられるようになっています。もう一社は帝国書院です。地理は世界と日本を結ぶあるいは対比する上で非常にたくさんの知識や見方を習得しなければならないという2つの面があり、地理的な見方、考え方を疑問文の形で投げかけて、そして捉えやすくしている教科書の構成になっており、その点の評価しています。

### 【村上委員】

私は1番に東京書籍を推薦したいと思います。学習の流れや導入部分では、小学校での学習内容といったものが示されておりますし、編・章を通しての探求課題があります。展開の方では1時間ごとの問いである学習課題、これを踏まえながら学習を進めることができます。また、まとめの方では探求のステップが示されており、いわゆる探究活動の解決への流れになっているのではないかなと思います。先ほどの1時間ごとの学習課題についても、見開きで右ページの下の方でチェックやトライというものがあって、チェックの方では基本的なことの確認、トライの方ではそれを踏まえた説明などをするということで、二段階の課題の設定がなされております。それから見方・考え方というところでは学習を更に深めると思いますし、みんなでチャレンジというところでは、グループで対話的な活動ができるのではないかなと思います。次に帝国書院ですが、名称などは異なりますが東京書籍と同じような流れになっており良いと思いますし、あるいはSDGsに関することで25テーマが掲載されておりますので、このような点も評価できます。

### 【土屋教育長】

それでは私の意見を申し上げます。まず、少し視点は変わりますが、2社を推薦したいと思います。一つは日本文教出版です。この教科書につきましては、地理の教科書ではありますが、それぞれの地理を学ぶ際に、当該地域が持っている現代的な課題について、他の出版社と比較いたしますと多くの言及がなされています。地理をいわゆる地勢的な意味での地理を学ぶということに加えて、各地域が持つ課題を具体的な形でコメントしているということで、1つ学ぶアプローチとして良いのではないかと考えております。もう一つは東京書籍ですが、この教科書につきましては非常に作り方がオーソドックスで、今各委員が述べられておりますように、一人一人の生徒が学んでいく上でのアプローチの仕方が非常に丁寧に示されており、また、各記述がある意味簡潔で非常にわかりやすい、このように感じております。

今各委員からご意見をいただきましたが、東京書籍と帝国書院、この2社を推薦されるご意見が多くありました。この2社につきましては、今村上委員からお話ございましたように、各単元の末尾に見開きで、学んだことを生徒たちに違った方向で問い掛けるといった共通したところがあるかなと思います。あえて比較すれば、帝国書院の方がデータの詳しく、東京書籍の方は比較的その学び方についての方向性が教科書に表れているかなと思います。この辺りについて、何か今仰っていただいたことに付け加えてということはいかがでしょうか。今、各委員のご意見をお伺いいたしましたところ、あえて推薦の順位をつけて申し上げますと、東京書籍を1番に推薦をするという声が大きかったと思います。この2社の教科書はなかなか甲乙つけ難いところですが、先ほど申し上げましたような、子ども達が学んでいくための、いわゆる探求的な方向性があり方等の示し方が、やや東京書籍がはっきりした形ででているのかと思ひまして、両社の比較ということでございますけれども、総合いたしますと東京書籍にやや皆さん方のご意見からすると、多とすることが多いのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは地理につきましては東京書籍の教科書を採択することといたします。次に歴史につきましては、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

歴史について報告させていただきます。歴史の教科書を各社見比べて、それぞれの会社がレイアウトやマーク、小見出しを工夫しており、それにより学びの流れに特徴を持たせていました。特に、年表の表現には工夫が見られ、活用意図によって使い勝手が出てくるようです。また、歴史を学ぶ上で取扱う資料の種類や量に違いがあったり、国語の教科書でも触れた「思考ツール」を扱っているものもあったりと細かな収録内容にも特徴が見られました。

【土屋教育長】

それでは、歴史について、秦委員から意見をいただきたいと思います。

【秦委員】

まず、山川出版社と帝国書院を推薦します。内容としては違うところも多いですが、2社とも甲乙つけがたいと思います。山川出版社は内容記述が大変豊富で、歴史への入口として歴史が好きな生徒にとって非常に魅力があるんじゃないか、そこから入口として掘り下げていってもらえるのではないかというひとつの期待も含めて、山川出版社を選びました。また帝国書院は、女性の活動家を大きく紹介されているところ、加えて様々な歴史にまつわるものを写真付きで紹介しており非常にわかりやすいところがあり、この2社を評価しました。もう一社は東京書籍です。東京書籍は多文化共生都市の神戸について取上げており、今後の大都市について考えると様々な文化が混じっていることについて考えることが大切で、東大阪に通ずることもあり、東京書籍を評価しました。

【堤教育長職務代理者】

東京書籍と日本文教出版を推薦します。歴史には流れがあり、もちろん他の教科も主体的に探究しなければならないのですが、特に深く探究をしていく必要がある教科でもあります。東京書籍の教科書には、探求課題が章の導入部分で設定されていて、子ども達が先生と一緒に様々な年表や資料を用いた主体的な学びが成立しやすいのではないかと思います。また、歴史の流れを追いながら、1つずつチェックをしてまとめていくという活動についても、グループ学習を取り入れやすい工夫がありますので、東京書籍を推薦します。

日本文教出版については、歴史的な見方、考え方を時系列を意識して学習ができるようになっており、歴史の流れとともに大きくつかむことができやすい工夫があります。また、明確な目標もはっきり示されており、先生が子ども達とともに歴史を学習する際の様々な工夫があると思いました。

### 【村上委員】

私はまず東京書籍を推薦します。学習の流れ等は先ほどの地理と同じです。その他、まとめの活動でチャート図等を用いながら、グループ学習で物事を整理して指導力を育てていくことができると思いました。次に帝国書院ですが、これも先ほどの地理と学習の流れは同じなのですが、こちらの方は各節の初めにタイムトラベルとして見開きで大きく、イラスト、しかも俯瞰でとらえられております。これが非常にインパクトを与えてると思いますし、生徒たちが見ても非常に興味が湧きやすく、その時の時代背景が捉えやすいのではないかと思います。また、これも地理と一緒になんですけれども、SDGs関連の記載が非常に多いというのも特徴であると思います。

### 【山中委員】

私は1つ目に帝国書院を選びました。先ほどもお話がありましたタイムトラベルは、歴史に興味を持たせてくれるということと、また、大阪府の資料によりますと発展的学習に関するページが多いという点を評価しております。次に、東京書籍です。話し合い活動の課題が最も多く、地理と同様に、多様的に深く考えさせる内容を評価しております。そして3社目として、山川出版社も大変良いと思っております。充実した内容であることはもちろんですが、空間的に歴史をとらえることができるなど、歴史の理解と興味が湧いてくる内容ではないかと思います。

### 【土屋教育長】

地理と同様、少し視点は変わりますが2社の教科書を推薦いたします。一つは山川出版社の教科書です。この教科書については、私自身でも評価が分かれるようなところですが、肯定的に見ているところは秦委員、山中委員からもありましたように、非常に記述が詳細で、歴史を学んでいく上で必要な分析を教科書の上に表現されているところが多い。ある意味これは歴史に対する興味を喚起する面であり、肯定的に見ています。ただ、ややそれを中学校の教科書として教室で使うのはどうなんだ、という疑問がなくはありません。ですからこれだけ詳しい内容になりますと、教室の中で全ての子ども達に歴史を教えるという意味で、全体的な視点から見て、相応しいのかどうかということにつきましては、少し心配なところがあると思っています。もう一つは東京書籍の教科書です。この教科書につきましては、地理で申し上げたのと同様で、いわゆる学習課題というのが見開きページの単元の冒頭で明確に示されております。先ほど申し上げましたように、単元の後には確認的なチェックするような小問が設定されていて、この辺りは他の教科書も同様なのですが、加えて東京書籍の教科書の場合は、探求のあり方について比較的明確な方向性が示されています。この様なことで、東京書籍の教科書を合わせて推薦したいと思います。

各委員のご意見を伺いましたけれど、先ほどの地理と同様、やはり帝国書院と東京書籍、この教科書を支持される委員が多いと思います。帝国書院につきましては、先ほど秦委員からご意見がありましたけれども、我々の生活に身近なところでの記述が比較的多く、東京書籍につきましては、生徒たちが学んでいく道筋のようなものが比較的わかりやすく説明されているところに特徴があるかと思います。これを先ほどの地理と同様、甲乙つけることが難しい採択ですが、先ほどと同様どちらかといえば東京書籍という委員の方がや

や多く、歴史につきましては、東京書籍を教科書を採用するということによろしいでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは歴史につきましては、東京書籍を採用いたします。次に公民につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

公民の教科書を各社見比べて、歴史と同様にそれぞれの会社がレイアウトやマーク、小見出しを工夫しており、それにより学びの流れに特徴を持たせていました。違いが現れているのは生徒が主体的に学ぶための工夫の部分で、これも国語や歴史の教科書でも触れた「思考ツール」を用いて生徒自身に考えを整理することを求めているものと、記載内容の読解による学習を求めるものがありました。「SDGs」は全社で取り上げられているが、その取り扱いについても各社特徴が見られました。

【土屋教育長】

それでは、公民について、堤委員から意見をいただきたいと思います。

【堤教育長職務代理者】

社会科という教科は、全般的な繋がり積み重ねを考えつつ、主体的であり、また探求型の学びが重要な教科であると思っています。その中で、特に主体的、探求的な学びを成立させ、いかに定着をさせていくかということについてが、考えるべきポイントかと思っています。学び易さというところからいうと東京書籍の教科書、2番目には日本文教出版の教科書を推薦します。東京書籍につきましては、歴史と同様に導入の部分で、探求の解決を補助する「探求ステップ」や、「みんなでチャレンジ」といったような複数で意見を述べて考えをまとめる学習もできるようになっています。特に公民につきましては、子ども達の興味や関心を持たせるのが難しく、学ばせやすさの点から考えると、東京書籍が良いと考えます。また、日本文教出版は、社会的課題を考察する工夫があり、主体的な学びという観点では、「チャレンジ公民」を活用して思考力・判断力・表現力を身につける工夫がなされている教科書になっているので、推薦します。

【村上委員】

私は公民もまず東京書籍を推薦したいと思います。これも学習の流れは地歴と同じで、内容も先ほど堤委員の仰った通りだと思っています。また、まとめの活動では、様々なテーマでみんなでしっかりと考えられるようになってるのではないかと思います。その他、特設ページで18歳でのステップというものがあり、これは成人年齢が2年後に18歳に引き上げられるということがありますので、一つは選挙の流れという題材、もう一つは契

約に関する題材が取り上げられており、生徒にとっては将来を意識し責任を持つという意識を持たせることができるのではないかと思います。関連して、法に基づく政治についての取り扱いページが非常に多く、そういう方向性がしっかり見えるので東京書籍を推薦しております。次に帝国書院ですけれども、こちらも学習の流れは地歴と同じなんですけれども、帝国書院はセクション始めに学習の前にということで、これも歴史と同じですけれども、イラストで見開きで大きく、俯瞰で描かれてるということで、やはり歴史と同じように生徒たちがインパクトを感じて興味関心が湧くのではないかと思います。また、特設ページやコラムの内容が非常に豊富で、広く学ぶことができるのではないかと思います。

#### 【山中委員】

地理歴史は1番は帝国書院、2番は東京書籍を選んだのですけれども、公民におきましても、帝国書院、東京書籍とも、非常に主体的に対話的に学ぶ工夫が整っており、主体的な学びという観点からしましても、甲乙つけ難い教科書だと思っています。どちらから1社を選ぶということであれば、私は帝国書院を1番で挙げております。理由は、産業や社会の構造的変化や企業に関するページが最も多く、ものづくりの街、中小企業の街の東大阪にふさわしいと考えます。

#### 【秦委員】

私は1番に教育出版を選んでおります。インターネットの発達と民生政治というところがあるんですけれども、これからはインターネットで仕入れた情報が、本当に正しいのかどうかということをきちんと考える場があること、それについてまた確認と表現ということで話し合うことができるポイントがあるということが大切だと考えるからです。それから、LGBTについて大きく取り上げられていること。またディベートについても取り上げられている点です。これからディベートをする力が大事になると思いますので。これらが入っているということで、まず教育出版を選んでいきます。もうひとつ、教育出版は社会の構造的な変化、企業に関する内容の写真図が非常に多いということです。スマホ世代には写真で見てもらうことで非常に興味を持ってもらえるのではないかなというところも良いと思いました。帝国書院は、東大阪についてたくさん取り上げられているので、興味を持ってもらいやすいと思い、評価しました。

#### 【土屋教育長】

公民の教科書につきましても、先ほどの地理、歴史と同様、2つのやや異なる視点で推薦しております。一つは日本文教出版の教科書です。この教科書につきましても、内容の設定が非常に生徒の視点に近い設定がされていると思いました。設定の仕方がそういう視点で設定されているために、生徒自身が自ら学んでいくということにつきましても非常に親和性が高いというか、学びやすいと思います。内容的にも、現代的な課題となっているテーマに力点を置いて取り上げられていると思います。もう一つは帝国書院の教科書です。地歴と同様、東京書籍の教科書は委員の方からも推薦があり、内容的にも甲乙つけ難いのですが、公民の教科書につきましても、経済活動のところについて比較的特徴があり、企業のあり方、例えば社会的責任であるとか、そういう経済活動を企業中心の視点で、とら

まえている。ここにひとつ特徴があると思っています。例えば、具体的な教科書の内容を見ますと、生徒一人一人が企業の従業員になった視点で事業の企画書を作ってみるとか、例えばコラムではございますけれど、新たに自分が起業するということをイメージした取り組みが設定されています。中小企業が多くあるものづくりの街東大阪にとって、子ども達は町工場あるいは商売など、そういう企業活動と非常に身近なところで育っているわけでありますので、これからの将来を見据えた経済のあり方の中での企業の役割というような視点も含めまして、この教科書は非常に本市にとって適合的なものであるということで、帝国書院の教科書を推薦いたします。

少し各委員のご意見をまとめさせていただきますと、この教科につきましても、様々なご意見ございますけれども、帝国書院と東京書籍の両社を推薦する委員が多くありました。地理歴史につきましては東京書籍の良いところに着目をして採択して参りましたけれども、公民に関しては全ての委員が両社の少なくともいずれかを評価しておられますけれども、帝国書院の特徴的なところに力点を置いて推薦されている委員が多いと感じますけれども、そのあたりがいかがでしょうか。

#### 【堤教育長職務代理者】

公民分野につきましては、憲法、政治、経済という柱があります。帝国書院の教科書も非常に優れており、経済についても、東大阪市の子ども達にとって日本における産業、経済、地域的な特色を学んでいくことは非常に大切だと思います。しかし、私は子ども達の政治離れ、村上委員がおっしゃった選挙権の問題ですけれど、18歳になった子ども達がどのように選挙権を行使するのか。日本の政治あるいは世界的な国家の仕組みが問われるような時代になっている中で、子ども達が政治に対して、あるいは憲法そのものに対してどのような関心を持ち、学んでいけるかということを考えなければなりません。新学習指導要領の中でもその確実な知識・技能の定着ということが決められている中、東京書籍の方がトータル的な系統立った学びができ、知識・技能を定着させることができると考えます。

#### 【土屋教育長】

では、東京書籍と帝国書院に絞った上でご意見をちょうだいできればと思います。今、堤委員からは東京書籍を、と伺いました。村上委員はいかがですか。

#### 【村上委員】

教科書の流れとか学習の流れは地歴と同じですので、それ以外の特徴ということになると、やはり18歳になったときを見据えた指導というものが大事ですし、政治的なことを学ぶ機会があるほうがいいのではないかと思います。どこに視点、重点を置いて判断するかということは難しいのですが、私は今申し上げたところに重点を置き、東京書籍だと思います。

#### 【山中委員】

私は帝国書院を推薦したいと思います。私は海外に住んでいた経験があるのですが、そ

の政治に対する姿勢が他国と比べて違うという認識であり、その課題意識は持っております。一方で市内で中小企業の経営者をしておりますけども、一時期市内に 12,000 社あった企業は今ももうその半分だということで、ある意味その新陳代謝も必要な時期だと思います。中学校時から経済、企業、スタートアップであるとか、そこのワードだけでもしっかりと学んで、次の世の中を切り開いて行って欲しいという思いから、帝国書院を推薦したいと思います。

【秦委員】

私も帝国書院を推したいと思います。その理由は東大阪市はやはりものづくりということとを大事にしており、東大阪の企業が大きく取り上げられているというのは、読む子どもたちが見た時に、あの会社知ってるわというようになれば、教科書の写真 1 枚であったとしても大きな役割があると思います。また、小さい時に実際に使うものを近くで作っていたり、目に触れる機会があったりすることで、自分自身もこんな物を作ってみたいと思うきっかけになればこれから日本がどんどん新しい産業をつくることにつながっていくと考えています。

【土屋教育長】

私は先ほど申し上げましたことに加え、先ほど山中委員、秦委員が仰られたように、やはりこれからの非常に不確実な時代を子ども達がどう生きていくかということについて、起業のプランであったり、いわゆる経済活動というのが企業を中心に回っているということを端的に中学生が学ぶということは、未来への準備という視点で言えばやはり必要なのではないかと思っております。そういう意味では、東大阪との関連に付け加えてもいいのかな、と思っております。

【堤教育長職務代理者】

東大阪の企業、産業については、地理の教科書でも十分に盛り上げていただいているのではないのでしょうか。

【土屋教育長】

地理の教科書は、比較的東大阪に関する記述が各社あります。

【堤教育長職務代理者】

公民の教科書のポイントとしては、その点について地理とは比重が異なると思います。

【土屋教育長】

確認をいたしますと、地理の教科書は 4 社全てが東大阪に関する記述がございます。

【堤教育長職務代理者】

ですから、公民分野で学ばなければならないという領域についての学びやすさ、定着、興味関心という視点で選べば、東京書籍を採択すべきという考えをご理解いただきたいと

思います。

【土屋教育長】

全ての委員から様々なご意見いただきました。状況で申し上げますと、2社に絞ったのご意見では、東京書籍を推す委員が2名、帝国書院を推す委員が私を含め3名です。私も数で決めるということについては躊躇する部分がありますが、結論としては、帝国書院の教科書を採用するということにさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは公民につきましては、帝国書院の教科書を採用することといたします。次に地図につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

地図の教科書2社を見比べると、まずは明らかにサイズの違いがあります。また、答申では印象であるために記載しませんでした。地図を見た時の色合いや文字、イラストなどにもそれぞれ大きな特徴があるという話をしました。掲載されている各種データにも違いがあり、それぞれが特徴的です。

【土屋教育長】

それでは、地図について、村上委員から意見をいただきたいと思います。

【村上委員】

私は帝国書院を推薦したいと思います。まず、A4版で非常に見やすいということがあります。また、各地域の〇〇を眺めてみようというページがあるんですけども、これも鳥瞰的な感じで、各地域非常に立体的で地形もわかりやすく表現されているかなと思います。東京書籍にも海溝というか海の立体的な図面などがありますけれども、帝国書院の方はその図面の中にキャラクターやイラストなどが散りばめられており、生徒たちが見たときに興味が湧きやすいのではないかと思います。また、この同じページの中に地図活用という質問がされているということでさらに興味を広げることができ、この見開き2ページでかなりインパクトがあるのではないかと思います。

【山中委員】

一言、版も大きく非常に見やすいということから、帝国書院を推薦したいと思います。

【秦委員】

私も地図のサイズが大きくて見やすい点ということで、帝国書院を推したいと思います。加えて、統計資料が充実しているというところを評価させていただきました。

【堤教育長職務代理者】

私も帝国書院を推薦したいと思います。知識と技能を定着させなければならない中で、特に地図から何を読み取るべきなのかということを考えると、ユニバーサルデザインやフォントなど、「見やすさ」に配慮したものであり、良いと思います。

【土屋教育長】

帝国書院を推薦したいと思います。サイズ、配色等で非常に見やすいというのが、端的に推薦の理由です。

各委員が帝国書院を推しておられるので、帝国書院を採択して参りたいと思いますが、ご異議ありませんでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは地図につきましては、帝国書院を採択いたします。次に数学につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

数学の教科書を各社見比べて、どの社も生徒が主体的かつ協働して学ぶために学習の流れを工夫していることが見て取れました。また、校種間でのつながりについては各社の特徴が現れ、小学校での既習事項との関連の示し方や高等学校の学習につながっていることを意識させるための内容の盛り込み方には違いが見られました。また、「プログラミング」をどのように数学の中で扱うのかという姿勢にも特徴があり、答申の中に視点として入れさせていただきました。

【土屋教育長】

それでは、数学について、山中委員から意見をいただきたいと思います。

【山中委員】

私は啓林館と学校図書を選びました。目的と目標が明確であることを重視しているのですが、どちらも目的と目標が明確であり、啓林館は、みんなで学ぼうと自分から学ぼうと二つ分けており、それぞれ目指すべきところが明確であるということ、また創造的に学びの区域を深め、また幅を広げる工夫もされており、評価いたしました。また、学校図書は、補足説明やヒント見出しの数が他社よりも多く、主体的対話的に学習者しやすい工夫があり、将来のICTを見据えた内容が充実しているという点を評価しました。

【秦委員】

私は、啓林館と日本文教出版を推薦します。啓林館はわかりやすい文字間と、例や解説が非常にわかりやすいという点です。次に日本文教出版はですが、初めのところが分数か

ら入っているので小学校で学んだ事を忘れている子ども達でも、もう一度復習する機会があるところを評価いたしました。

#### 【堤教育長職務代理者】

私は啓林館を推薦したいと思います。数学は演習、エクササイズをしながらでないと深めていけない教科ですので、子ども達が問題に取り組み、自分自身でも解き方やアプローチの仕方とか、解答がきちんと正解になっているのかを確かめながら、数学に興味深く学んでほしいという思いがあります。数学の論理構築がしっかりしていますし、自立的学習がしやすい工夫があります。また、QRコードが子ども達が確かめたいところにちゃんと配置されているように思います。今のような自立学習をしなければいけない状況であって、そういうスキルを身につけるとともに、やはり発展的な学びを自ら進めていけるようにアシストしてもらえ教科書であると思います。

#### 【村上委員】

私も啓林館を推薦したいと思います。表紙からはみんなで学ぼう編、裏からは自分から学ぼう編と2部構成になっていて、そのような工夫が非常に良いのではないかなと思います。それから章末問題でも、基本的な学びを確かめようというのと、次の段階として学びを身につけようと、2段階に分かれてそれぞれ思考力を育成できると思います。さらに、この学びを身につけようからさらに発展させた学びを生かそうというのが、自分から学ぼうの方へリンクされていて、そういう繋がりがあり、ページ数もその対応を示されていて、章末問題と巻末問題の充実とその連携、そういうことがしっかりと行われてるところが良いと思います。それからみんなで学ぼう編の方では、数学ライブラリというのがあるって、それから自分から学ぼうの方には社会見学に行こうというのがあるって、それぞれ様々な身の回りの題材が取り上げられていて、これも子ども達たちには興味をもって学習することができるのではないかなと思います。他には、日本文教出版も巻末のマイトライでいろいろ考えを深めたりすることができるのではないかなと思いますし、また対話シートを使って自分の考え、相手の考えを整理できるというところでは良いのではないかなと思います。

#### 【土屋教育長】

数学や理科いわゆる理数系の科目については、この教科をなぜ学ぶのか、自分の生活の中でどう結びついているのか、これらを中学生の生徒には実感的に理解するのは難しい話だと思います。その中で東京書籍と教育出版の教科書ですが、東京書籍につきましては、各章の冒頭にコラムでその章で学ぶ内容と関連がある課題が掲載されていて、現実の生活の中でどのように通じているのかを少し説明するような記載があって、今私が申し上げた視点からいうと配慮があるのかなと思います。それから、教育出版につきましては各章冒頭にレッツトライというところがあり、学びと生活の中での結びつけ、これについての配慮がなされていると思います。そういう視点で、2社の教科書を推薦したいと思います。

啓林館の教科書につきましては、私を除くすべての委員の方が推薦をされております。私は啓林館を上げませんでしたけれど、内容的に非常にオーソドックスな教科書ですね、やはり、これまで啓林館で授業をしてきた積み上げもありますし、とりわけ今回教科書に

については巻末から皆で学ぶという、今までにないような新たな取り組みをされているということで、私も啓林館の教科書が決して採択に値しないものではないと考えております。つきましては、数学の教科書は啓林館を採択することによろしいでしょうか。

**【各委員】**

(異議なし)

**【土屋教育長】**

それでは数学につきましては、啓林館を採択いたします。次に理科につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

**【諸角教育次長】**

理科の教科書を各社見比べて、社によってサイズに違いがあることに着目し、実験なども行う教科としての使い勝手について協議しました。また、小学校の低学年が「生活科」として「理科」や「社会」を日常の中で学ぶ形にしているように、各社が様々な工夫をして理科と日常生活をリンクさせるようにしていました。今回の選定作業の中で重視した生徒による主体的な学びを引き出す工夫があるかについても、学び方を示したり、科学者を自伝的に紹介したり、自ら学びを確認するためのチェックリストを入れたり、各社の特徴が見て取れました。

**【土屋教育長】**

それでは、理科について、秦委員から意見をいただきたいと思います。

**【秦委員】**

はじめに啓林館を推薦します。まず一つは、写真が大きくわかりやすく、教科書が読みやすい点。例えば実験の手順という非常にわかりやすく丁寧に説明してあるというところがこの教科書を評価する点です。もう一つは、未来を変えるというようなところで、今後の医療や福祉についていかに科学技術が大切であるかということが書いてある。そういうところも評価いたしました。次に東京書籍ですが、同じく実験が写真つきで非常に丁寧であるというところが評価したところです。

**【堤教育長職務代理者】**

私は、啓林館を推薦したいと思います。実験は危険を伴うものですから、チェックリストを用いて自分でチェックをすることができると、また、課題解決的な学習を行うとすると、時数、時間の余裕がないと課題解決学習を行うのは難しいと思いますので、その辺りの配列についても考慮がなされている点が、推薦の理由です。それから、理科は生活と科学を結び付ける関係性を体感しながら学習すべき教科でありますので、子ども達が興味を持つような形で色々な情報が提供されています。単元の終わりには学習したことを理解するだけでなく、活用に向けて「探求クラブ」のページがあり、子ども達にとって理科の学習を着実に進めていくということに非常に貢献する教科書だと思います。もう一社

は教育出版です。実験では禁止マークがあり、子ども達を守るという意味で非常に大事だと思います。また、中学校の配当漢字、常用漢字についても見開きごとに振り仮名が振ってあるとか、巻末の索引で単語が調べられるなど理科の用語をきちんと理解することについての配慮があり、理解の内容とともに優れた教科書であると思います。

#### 【村上委員】

私も啓林館を推薦したいと思います。まず写真が非常にインパクトがあり、子ども達の興味関心を惹くところと、冒頭に探求の過程が示されており、学習が進めていきやすいかと思います。それから各単元に探求実験というのがあり、これに対応した探求シート、探求クラブというのが巻末についていますので、これらをあわせて探求的に学んでいける内容になっていると思います。あと、5種類のラボについては、生活と学習を結びつけて考えられ、良いと思います。その他では東京書籍です。こちらはA4縦型ということで、実験が見やすく、流れも掴みやすい。それから、こちらは各学年とも巻頭で科学と日常生活の繋がりを見開きでとらえており、さらにその次の段階では科学で調べていこうという、つなげていく導入が良いと感じました。

#### 【山中委員】

私は東京書籍と啓林館を選びました。東京書籍は日常生活や社会との関連性に関する箇所が最も多いので、理科への興味を引き出すことができると考えます。啓林館は先ほども話がありましたように、探求の過程を示す図は大変素晴らしいと思っております。内容もそれに則った展開になっておりますし、図や写真の配列が良いということと、あと啓林館の特徴として環境保全に関する記述が最も多いということで、将来の環境に関する部分は課題がありますので、それを学ぶことは良いことだと思っております。

#### 【土屋教育長】

理数系教科というのはやはり、身近なところでどう学ぶきっかけをつくっていくのかというところが大事であると思っております。そういう観点から申し上げますと、今、山中委員のご発言にもありましたように東京書籍の教科書は、生活の中で起こる事象と理科という教科の関係で、比較的丁寧な記述がされておまして、そういう点で配慮があると思います。また版の大きさが他社と異なり縦長の教科書でございます。例えば本文の横に説明的なグラフであるとかが縦に並んでいるレイアウトになっており、理科という教科の特徴を考えますと、理科の本文の内容と同時並行的に理解をしていくということについて、非常に学びやすい点があると思います。あと教育出版の教科書でございますけれども、探求の進め方、要は学習の進め方ですけれども、非常にパターン的な構成になっておまして、繰り返し繰り返しそのパターンで各単元を学んでいく構成になっております。理科という教科につきましては、仮説を立て実験、確認をしていくという、そういうひとつの学びの系統性というような観点から申し上げますと、パターン化することにつきましては学びという観点でいうとメリットがあると思いますので、教育出版の教科書も推薦したいと思います。

各委員から意見を述べていただきましたけれど、私を除くすべての委員が啓林館を推薦

されています。また、東京書籍の教科書につきましては、特徴的なところでございまして、各委員の方からも、推薦される結果が多かったのかなと思っております。2社に絞り込んで申し上げますと、啓林館の教科書を挙げておりませんが、今、各委員からいろいろご意見ございましたし、加えて申し上げますと、補足的ではありますがQRコードが充実しておりまして、そういう意味で言いますと数学と同様、非常にオーソドックスな教科書という評価をしております。そういう意味で、啓林館の教科書を採択することについて、私としても全く異議はございませんので、理科につきましては、啓林館の教科書採択して参りたいと思いますけどよろしいでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは理科につきましては、啓林館を採択いたします。次に音楽の一般につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

音楽一般の教科書は2社での比較となりましたが、いずれも生活の中での音楽を多数紹介し、音楽を生涯にわたって楽しむための工夫がされていました。その他、日本と外国の取り扱っている教材数や鑑賞と歌唱のバランスに違いがあったり、実技における細かな配慮の仕方に工夫があったりという部分で各々の特徴が見て取れました。

【土屋教育長】

それでは、音楽一般について、堤委員から意見をいただきたいと思います。

【堤教育長職務代理者】

音楽は豊かな人生を送るうえで非常に大事な教科で、色々な楽器や歌により、さまざまな表現をして取り組めるような授業であれば良いと思います。また、鑑賞力の養成も重要性が高いので、表現や鑑賞の幅広い活動を通しての学びを成立させやすいのではないかと考え、教育出版を推薦したいと思います。

【村上委員】

私は教育芸術社を推薦したいと思います。各学年の巻頭で著名人が紹介されておりまして、まず生徒の興味関心が湧いてくるのではないかと思います。それとこれも冒頭の中学校の音楽の学習内容というのがありますけれど、このところでは、何を学習するのかわかりやすく、整理されてるなと思いました。いわゆる思考力、判断力、表現力、知識、技能等が明示されており学習しやすいと思います。それから、写真とかイラスト等ですね、こういうものも効果的に配置され、学習しやすいのではないかと思います。あと、2、3年生の郷土の祭りや芸能、それから1年生の郷土に伝わる民謡を調べようといったところでは、日本地図に対応してそれぞれ詳しく学ぶことができるようになっています。それと

巻末で、両社とも国歌君が代があるのですけれども、教育芸術社の方は、自国のみならず他国の国歌も同じように尊重していくことが、国際的なルールや礼儀であるというようなことが記載されているのが良いと感じましたので、私は教育芸術社を推薦したいと思います。

#### 【山中委員】

私は教育芸術社を選びました。私事ですが音楽はあまり得意ではなかったので、両社の教科書見て、どちらが楽しく主体的に勉強できるかという観点で選びました。中身を見ますと、教育芸術社の方がイラストや写真などもバランスよく配置されているということと、生徒の心情に働きかける豊かな教材があったりとかということで、繰り返しになりますけれども主体的に楽しく学ぶことができると思い選びました。

#### 【秦委員】

私は教育出版社を選びました。まず写真等が見やすく非常に優しく書かれている点、それからその曲で学ぶ学習内容や狙いがページの横に書いてあるので何を学んでいくのかがわかりやすい点です。その例としてなんですけれども、あいうえおの発音方法が図解しており、歌を歌う基礎からわかりやすく解説してあるということは、これから3年間学ぶ上で大事かと思い、教育出版社を選びました。

#### 【土屋教育長】

私は教育出版の教科書を推薦したいと思います。各ページのレイアウトや配列が良く見やすいのではないかと、生徒が学ぶべきポイントが非常にわかりやすく表現されている、そういうところに教育出版の教科書の優れた点を見ております。また、この両社、QRコードの読み取り結果が非常に異なっており、教育出版のQRコードは、実際に教科書に載っている合唱合奏がQRコードを通じて聞けることになっております。実際、今年度中に全ての小中学生にタブレットを配備していくわけですが、GIGAスクール構想の中で子ども達のICT環境が劇的に変わります。もちろんこの点についてはまだ途中過程の問題でございすけれども、一つこの教科書の取り組みというのは注目に値するのではないかと思います、教育出版を推薦したいと思います。

2つの出版社しかございませんので、もう、どちらかということになります。その点で申し上げますと、教育出版をした委員が3名、教育芸術社を推薦した委員が2名ということで、教育出版の教科書を採択して参りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### 【各委員】

(異議なし)

#### 【土屋教育長】

それでは音楽一般につきましては、教育出版を採択いたします。次に器楽合奏につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

#### 【諸角教育次長】

器楽合奏の教科書も音楽一般と同じ2社での比較となりました。実技という面から、生徒が練習する時の留意点などがそれぞれの社の工夫で示され、生徒が主体的に学ぶ時に利点となるかについて話し合いました。その他、西洋楽器と和楽器の取り扱いについても各社に特徴がありました。

#### 【土屋教育長】

それでは、器楽合奏について、村上委員から意見をいただきたいと思います。

#### 【村上委員】

こちらの方も私は教育芸術社を推進したいと思います。理由については先ほどと同じなんですけれども、冒頭で中学校の器楽の学習内容がわかりやすく整理されており、音楽一般と同じく写真やイラストが効果的に配置されています。他では、各楽器の紹介のところでは、各楽器の演奏を聞こうか、あるいはその楽器を知ろうということが記載されており、特に楽器を知ろうというところでは、その楽器の歴史などいろんな知識がここで紹介されているのが良いと思いました。

#### 【山中委員】

私も先ほどと同じく教育芸術社の方で選んでおります。理由につきましては先ほどと同じで、生徒にとって主体的に楽しく取り組める内容かという視点で選びました。

#### 【秦委員】

私も前回と同じで教育出版社を選んでいます。二つ理由がありまして一つは、まずは我が国の伝統的な楽器というものが大きく取り上げられていることです。最近どうしても洋楽の方に目が行きがちですけれども、そうではなく日本の楽器も非常に素晴らしいということを少しでもわかっていただきたいと思いますというのが一つ。それから曲数が非常にたくさんありますので、選択肢がより多くあるのは良いと感じたところです。

#### 【堤教育長職務代理者】

私も教育出版社を選びました。基本的な知識や演奏法を学んだあとに、発達段階に応じて使える応用的な教材が多くあるという点、もう一つは、様々な楽器を用いて演奏するという教材がある点です。楽器を扱うことができるスキルが有るとか無いとか、音楽が好きとか嫌いとか、子ども達に差があると思います。その差を、今申し上げた2点からカバーをしながら、楽しみながら学べるということについて言えば、教育出版社の方を推薦できるかと思います。

#### 【土屋教育長】

器楽につきましては先ほど申し上げましたQRコードは両社ともございませんので、先ほど申し上げましたQRコードで比較することはできないのですけれども、教育出版につきましては各ページレイアウトの有り様がよく、学ぶポイントがわかりやすく示さ

れております。音楽の一般と器楽、先ほど程差はないものと考えており、先ほどの一般との関連からも教育出版を推薦したいと思います。

まとめに入りたいと思いますが、器楽合奏につきましても先ほどの一般と同じく2社択一というところでは、器楽合奏につきましても、先ほどの一般と同様の理由で教育出版を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは器楽合奏につきましては、教育出版を採択いたします。次に美術につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

美術の教科書を各社見比べて、2・3年の学習を1冊にまとめているものと、2分冊としているものがあり、持ち運びという視点と全体を俯瞰して学ぶという視点からの利便性が取り上げられました。また、各社の配慮にも特徴があり、芸術作品が持つ権利を丁寧に取り上げている会社、実物の感覚をできる限り味わえるような工夫がある会社、生徒作品を多く載せることで親しみやすさを持たせている会社など、それぞれに特徴がありました。

【土屋教育長】

それでは、美術について、山中委員から意見をいただきたいと思います。

【山中委員】

私は日本文教出版を選びました。芸術が暮らしの中に溶け込んで、そして、いかに素晴らしく、人生にとって不可欠なものであるかを感じさせる内容となっていると思います。また、キャリアプランとしてそのプロフェッショナルとして活躍したいと感じるものになっていると思います、その点を評価いたしました。

【秦委員】

私は日本文教出版と光村図書を推しているのですが、日本文教出版は、今山中先生が仰られた形のところ含めてなんですけれども、ICTを活用した授業に取り組みやすいというところでは、光村図書はLGBTやいじめ防止の点も触れられているというところで評価をさせていただきました。

【堤教育長職務代理者】

私は日本文教出版と開隆堂を推薦します。日本文教出版は3冊構成にすることで目標が明確になっていて、配置もわかりやすいと思います。発達段階に基づいての美術の授業が展開できると思います。巻末にまとめて鑑賞の資料が設けられているところも良いと思います。開隆堂は、ひとつの評価の観点として、表現的な活動として整理されており、各分

野の幅広い視点で表現技法を取り扱っているところが、美術の教科書として優れていると思いました。音楽と同じで美術に深く関わり、自分自身でも芸術活動に取り組みたいという気持ちを育める教科書ではないかと思います。

#### 【村上委員】

私はまず、日本文教出版を推薦したいと思います。2、3年生が上下2冊の構成になっているということで、発達段階にあわせた内容になっていると思います。内容量はどうかというような気持ちもありますけれども、3冊とも巻頭から流れがうまく工夫されているなということを強く感じました。例えば1年生の巻頭では、美術の出会いということでアニメーションの背景ができ上がるまでというのが紹介されていて、そのあとに著名人の学びの言葉というのがでてきて、その次に中学校の美術の世界へようこそ、次のところではあなたらしさを見つけてというところから入っていったらいい。それから2・3年生の上の方は、巻頭で学びの実感と広がり、こちらは多彩な表現が示されている。同じくやっぱりここでも次に著名人の学びの言葉がでて、次にあなたの美を見つけて、2・3年生の下の方では時代を超えて美を探究するということでサグラダファミリアが紹介され、また次に著名人の学びの言葉があります。この様に特に冒頭、同じような考え方でそれぞれ非常に興味深く入っていけるのではないかと思いますし、最後のところでは社会に生きる美術の力ということで、美術というのは社会生活の場で生かされているんだということ、また、一番最後には明日への巣立ちということで、今後も生徒がこれからも頑張って成長していけることを願うような文章が掲載されて、すごく良いと思いました。あと、開隆堂も最初で学びの地図で見通しが立ちますし、こちらは他教科関連マークが多く示されて、教科横断的な学習がしやすいと思います。

#### 【土屋教育長】

私は光村図書の教科書を推薦したいと思います。この教科書は、印刷の質、あるいはレイアウト等の視覚的な工夫というか、配慮がされていると思っております。また、とりわけ私が驚きましたのは、葛飾北斎の富嶽三十六景などのように原寸大のものを教科書に織り込むなど、日本が世界に誇る美術作品を本物に近い形で示されているという新鮮な驚きもありました。そういったところから、光村図書を推薦いたします。

それでは各委員のご意見をまとめて参りたいと思いますが、それぞれ開隆堂、光村図書、日本文教出版のご意見をいただいておりますけれども、日本文教出版の教科書ですね、多くの委員がご推薦いただいております、他の2社より意見が多いので日本文教出版の教科書を採択してまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### 【各委員】

(異議なし)

#### 【土屋教育長】

それでは美術につきましては、日本文教出版を採択いたします。

少し戻った話になりますが、音楽の器楽合奏のところで、ちょっと私の記憶が誤ってお

りまして、器楽合奏についてはQRコードが無いと申し上げてしまいましたが、実際にはございます。そういうことで私の発言に訂正を要する部分がございますので、お詫びを申し上げまして、訂正をさせていただきたいと思います。なおこのことによって先ほどの結論が変わるということではないと思いますけど、いかがでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは採択の結論に影響ないということで、進めて参りたいと存じます。  
次に保健体育につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

保健体育の教科書を各社見比べて、どの社も日常に関わる内容や最近社会で課題とされていることを取り上げていますが、そのピックアップする視点や取り上げ方に特徴がありました。例えば性的マイノリティに関わる記述や薬物乱用の問題の記載内容も各社様々です。共通点は、どの社も課題提起から課題解決、そして発展的な学びという流れを取っていますが、マークや小見出しの付け方などで特徴を持たせていました。

【土屋教育長】

それでは、保健体育について、秦委員から意見をいただきたいと思います。

【秦委員】

私は東京書籍を推薦します。それは、異性の尊重であったり、心の発達、それから性の多様性であったり、自然災害による危険、また加えて、非常に問題になっております熱中症に対しても、書いてあるという点でまず評価しております。その次に大日本図書を推薦いたします。やはり同じくジェンダーを意識した取り上げられ方をしているという点と、同じく熱中症について大きく取り上げられているということで、この2社を推薦いたしました。

【堤教育長職務代理者】

学研みらいを推薦したいと思います。保健体育ですので、体育と保健を関連付けてできる工夫があるということと、「心の発達」という観点で、性の問題についても丁寧に取り扱われている点です。また、感染症等につきましても記述がありますし、探求をするということについても学習方法が多彩な形で示されており、推薦したいと思います。

【村上委員】

私もまずは学研みらいを推薦したいと思います。どの社も同じだと思うんですけども、特に授業の1時間の流れが他社と比べてわかりやすくまとまっていると思います。それと

口絵のところで、学研は6テーマほど紹介されてると思うんですけども、その中で特にスポーツで世界を一つにとか、各分野で活躍する人達、いつでも話せる相手がいるということで相談窓口なども書かれている点、それから中学校生活と食事というところでは、スポーツ選手とか部活生に限らず、広く一般的な中学生に必要な食事というような形で扱われているのは非常に良いと思います。また、探求しようよというところでは多くの題材があり、更に学びが深めていけるのではないかと思います。あと東京書籍もやはりこの学習の流れがわかりやすいですし、特に1時間の学習課題が非常にわかりやすく記載されていて、また、他教科との関連が1番多く取り上げるというところも良いかと思いました。

#### 【山中委員】

私は東京書籍と学研みらいを選びました。東京書籍は單元ごとの学習課題がわかりやすく、課題とその解決方法、そして探求の構成が大変良いと思いました。学研みらいは、思春期の悩みが多い世代にとって、自らを見つめる工夫がなされていると思いました。

#### 【土屋教育長】

私は大修館を推薦いたします。大修館の教科書で他社の教科書と趣が異なるところは、生徒の視点といいますか、生徒の生活に結び付くものが多いと思いました。例えば薬物の説明について、薬物の種類が細かく説明されています。これは望ましいことではありませんが、子ども達の周りに発達の妨げになるような事象が多くあるわけで、そのことに対する知識や理解というのが比較的ダイレクトに教科書のうえに表わされています。こういうところにひとつ特徴があり、東大阪の学校で使うということについては、実用的なことを含めて、意味があると思います。

それでは各委員からいただきましたご意見をまとめて参りますと、学研みらいと東京書籍の教科書を推薦をされる意見が多かったと思っております。私が両方とも発言をいたしませんでしたので、2社を比較するという事で申し上げますと、学研みらいの教科書の方が説明的にはわかりやすいと思いますし、それから性的マイノリティに対するコメント、あるいは、先ほど委員からもご発言ございましたけれども、性の問題への向かい方のようなことについて、この2社を比較した場合に、私は学研みらいに一日の長があるのかなと思います。2社を比較した場合、やや学研みらいに賛意を表される意見が多かったのかなと受けとめております。保健体育につきましては、学研みらいの教科書を採択することとしてよろしいでしょうか。

#### 【各委員】

(異議なし)

#### 【土屋教育長】

それでは保健体育につきましては、学研みらいを採択いたします。次に技術家庭の技術分野につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

#### 【諸角教育次長】

技術分野の教科書を各社見比べて、別冊を用意している社と1冊で完結している社がありました。主に実習時のみ持ち歩くために別冊にしている工夫は特徴的といえます。また、日常生活と結びつくことが多い教科であることから、他教科や既習事項などのつながりを各社が様々なマークを配置するなど、それぞれの工夫がありました。他にも、環境に関わることを多く取り上げていたり、プログラミング教育を重点化しているなど、掲載内容の多少にも違いが見て取れました。

#### 【土屋教育長】

それでは、技術家庭の技術分野について、堤委員から意見をいただきたいと思います。

#### 【堤教育長職務代理者】

私は東京書籍を推薦したいと思います。技術は分野的にも色々な学びがないといけないと思います。いわゆる系統性、整合性、トータル的に考えて、東京書籍が良いと思います。

#### 【村上委員】

私は開隆堂を推薦したいと思います。問題解決型の学習が各分野に設けられていて、主体的な学びにつなげることができる、また、各分野の最初のページ見開きの右側のところに技術の歴史の年表があり、非常に参考になると思いますし、小学校や他教科との関連も示されているので、これも参考になるのではないかと思います。それと、情報モラルについての取り扱いがあって様々な事例が紹介されています。巻末の方では、携帯電話のトラブルに巻き込まれないようにというような、情報モラルについて学習できるのかなと感じました。あと、環境との関わりを扱っている場所が多く、これもまた他教科との連携が図れるものと思います。また、東京書籍も冒頭のガイダンス部分で、学習方法あるいは作業の安全性、問題解決のプロセス、そういうものがわかりやすく説明されているので見通しを持って学べるのではないかと思います。

#### 【山中委員】

私も東京書籍を選びました。今村上委員からもお話がありました、冒頭のガイダンス、例えば最適化であるとか、これは本当に大変素晴らしいと思ってます。技術者の私とっても大変勉強になる内容で、明日の技術者にとってのエッセンスがここに凝縮されてるのかなと思っています。従いましてものづくりの街東大阪にふさわしいものだと考えます。その内容につきましても、このガイダンスに則ったものであって、問題解決のプロセスの見える化がなされており良いと思います。

#### 【秦委員】

私は教育図書を推薦したいと思います。技術で変わる私たちの生活というところがあり、いかに技術というものが我々の生活にとって大事かということを知ってもらう点。また、いわゆる知的財産に関する配慮が大きく取り上げられているという点です。この知的財産があるかないかということによって企業、ひいては国が大きく変わってくるという点を知

る事が大事だということです。それから、技術、環境エネルギー資源との関連について大きく取り上げられているという点です。一つが欠けてもおかしくなるという点を、いろんな角度から知ることは非常に良いと思うからです。

【土屋教育長】

私は東京書籍の教科書を推薦していきたいと思っております。東京書籍の教科書は比較的共通するんですけれども、各項目ごとの構成が明確で、この技術の分野においては、他社との比較において、レイアウトや説明も丁寧でわかりやすいと思います。また、日常生活との関連が教科書の中で随所に示されている点を評価いたしまして、推薦いたします。

各委員の意見をまとめさせていただきますと、それぞれの会社についてのご意見をいただいておりますけれども、全体的な意見の中で申し上げますと、やはり東京書籍を推薦するという意見が多かったと思います。そういうことから、技術家庭につきましては東京書籍の教科書を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは技術家庭の技術分野につきましては、東京書籍を採択いたします。次に技術家庭の家庭分野につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

家庭分野の教科書を各社見比べて、どの社も冒頭にガイダンスにあたるページを設けて、生徒自身が学びのプロセスを認識できるようにしています。また、技術分野と同様、日常生活と結びつくことが多い教科であることから、他教科や既習事項などのつながりを各社が様々なマークを配置するなど、それぞれの工夫がありました。その他、実習時での活用に考慮した紙面構成や、実習例の多い少ない、主体的に生徒が学ぶための道しるべとなるマークの活用など、それぞれが工夫していました。

【土屋教育長】

それでは、技術家庭の家庭分野について、村上委員から意見をいただきたいと思います。

【村上委員】

私は東京書籍と開隆堂を推薦したいと思います。東京書籍は先ほども言いましたように、冒頭のガイダンスで非常にわかりやすいということと、調理実習と裁縫実習の数が非常に多いということ、それから各編の終わりで学習のまとめがしやすいというところです。また、生活に活かそうというところでは、生活に活かせる発問とかが実生活に繋げることができるのではないかと思います。開隆堂ですが、こちらも冒頭のガイダンスで、主体的対話的で深い学びをしようということがここではっきりと説明をされておりますし、また、各単元で話し合ってみようというところがあるんですけれども、ここで具体化されているとい

うようなところは良いと思います。同じく各單元には振り返り、生活に活かそうなど、東京書籍と同じですけれども、さらに学習を広げることができると思います。それと、各ページ下の方に豆知識が記載してあり、様々な知識を吸収することができて良いと思います。

#### 【山中委員】

私は東京書籍を選びました。実習例が最も多く、先生の選択の幅が広げられるということと、実習前後も含め、実習中の安全に関する記述が大変わかりやすいと思います。また環境マークの明示数が最も多いことも評価いたしました。

#### 【秦委員】

私は教育図書を1番に評価しております。まず、大阪もんのマークが紹介されている点です。このマークは我々が身近でいろんな親しみをを感じるものに付けてあります。これが紹介されることは、より大阪に親しみを感じて、あの教科書に出てたと、これがきっかけで探求心や愛着が出るのではないかというところもあって、こちらの教科書を選びました。

#### 【堤教育長職務代理者】

私は東京書籍と開隆堂を選んでいきます。東京書籍は3年間の学習の見通しや学習の進め方が巻頭にあり、生徒の実態にあった内容にもなっていると思います。次に開隆堂ですが、これから特に実現しなければならない「ジェンダー平等」、「女性進出」、「男女共生」の考え方というところにも配慮がある点がよいと思います。

#### 【土屋教育長】

私は東京書籍を推薦したいと考えております。理由につきましては先ほど技術分野で述べたところと同様ですけれども、加えまして、先ほど山中委員のご意見にありましたように実習項目が非常に多いように思います。このことについて写真も含めまして非常にわかりやすいのではないかと評価しております。

各委員のご意見をまとめさせていただきますと、技術家庭の家庭分野については、全ての委員が何らかの形で東京書籍の教科書を推薦いただいておりますので、東京書籍の教科書採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

#### 【各委員】

(異議なし)

#### 【土屋教育長】

それでは技術家庭の家庭分野につきましては、東京書籍を採択いたします。次に外国語につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

#### 【諸角教育次長】

英語の教科書を各社見比べて、小学校英語との関連性や、「Can do リスト」の扱い、それから教科書サイズなど、各社それぞれに特徴を確認しました。本市でも「Can do リ

スト」の作成・利用については推奨しているところもあり、生徒が主体的に学ぶためのチェック項目としての活用が見込まれます。また、導入時点での「be 動詞」と「一般動詞」の取り扱いにも各社違いがあり、収録単語数の多い少ないと共に特徴といえます。その他にも付録として添付しているもの、例えば「アクションカード」「アクティビティカード」など様々であり、各社の工夫が見られました。

#### 【土屋教育長】

それでは、英語について、山中委員から意見をいただきたいと思います。

#### 【山中委員】

私は光村図書を1番に選びました。各学年、各学期の到達目標が極めて明確だと思います。また巻末の英語の仕組みは、つまずきやすい点の振り返りに大変役立つ内容であります。文法を、例えば過去分詞とかを論理的に理解するのにとても良い内容であると思います。また、開隆堂及び三省堂も選んでおりまして、小学校との接続性が良いと思います。特に三省堂は現在小学校の教科書としても採択されており、この点は評価したいと思います。

#### 【秦委員】

私は1番最初に光村図書を選びました。教科書になぜ英語を学ぶのかという質問があります。これは非常に大事なことで、とりあえず英語をやるということではなく、先ず何故英語をやるのかを考える点です。それから、英語を学ぶ上で、またコミュニケーションをとる上でどういうところが大事なかが書かれています。例えばアイコンタクトのようなことが、細かく書かれているということが非常に評価できます。もう一つは、日常の言葉が多く使われている点です。それは英会話において辞書のような言葉でないところです。もう1社は啓林館を選んだのですが、啓林館も同じように、日常に外国の方が使われるような言葉が使われているところです。例えばファストフード店でのやりとりのような、実際に使える言葉が記されているという点、また、今の日本でだんだん多くなっているハラルについて記載があり、他国の食べ物、他国の文化を知る機会があるという教科書ということで、この二つを評価しました。

#### 【堤教育長職務代理者】

三省堂、開隆堂、啓林館の3社を推薦します。まず三省堂ですけれども、説明にもあったように、小学校が教科化されていますので、接続に関して発展的に解決しなければならない重要な課題であると思います。三省堂は、語彙・配列についても、4技能5領域のバランスに優れています。開隆堂については、色々な題材の取り扱い方と、学年が上がっていくにつれての学び方がきちんと設定されているということも大事なことであり、思っています。各教科書が全体的に優れ、色々な配慮がなされている良い教科書となっています。啓林館については、学び方がスパイラルアップといいですか、ラウンドアップ型の学び方ができることが特徴的であると思います。単元の目標も非常に明確にされていて、常に目標を定めながら学習できるようになっている、「新たな時代」の教科書というイメージで

す。

### 【村上委員】

私は開隆堂と三省堂を挙げております。開隆堂の方は、巻頭一番最初にアルファベットが示されておりますし、中学校英語始めようということで小学校英語を生かすと記載されておりますので、そこら辺がもう小学校との連携がスムーズにいくように導入部分で工夫されてるなと感じましたし、アクションカードもあり授業で活用しやすいのではないかと思います。また、自分の考えを表現する活動を取り扱ってるページが多いということも非常に良いと思いました。それから三省堂ですけれども、冒頭でこの教科書の仕組みというところで3つの資質能力、これが非常にわかりやすく説明をされていて、学び方を明確に理解できるのではないかと思います。それから、三省堂も1年冒頭で小学校との連携がうまくいくような構成になっています。それと学年が進むにつれて、単語の大きさや語彙数が段階的に設定されております。また各学年で取り扱っている語彙数が一番多いことも推薦する大きな理由です。また三省堂は付録も非常に多くあるということも、使い勝手がいいんだろうなと思いました。

### 【土屋教育長】

私は三省堂の教科書を推薦したいと思っております。三省堂の教科書につきましては、様々な特徴につきましては今各委員が仰っていただいたところですが、内容的にも様々な角度からのコンテンツがありまして、いろんな場面で英語を使うと、こういう流れがあると思っております。また付録が充実している、語彙数が多いということについてが、三省堂の優れたところだと思います。加えまして、これは私の個人の意見でございますけれども、今回の中学校の英語の教科書採択というのは初めて小学校で英語が教科として学んできた子ども達を教える教科書になるということです。今まで、我々経験していない授業になるわけで、子ども達がこれまで学んできている、学んできていないということで大きな違いがあるわけであります。その中で、我々この後、様々な積み上げをしていく必要があると、こういうふうに思っておりますけれども、そういう中で、今回の採択に関して言えば、少し小学校からの接続性をみる必要があるのかなと考えております。そういう観点から申し上げましても、小学校で三省堂の教科書を使っておりますので、その点を少し踏まえまして、三省堂ということをお願いしたいと思います。

各委員からのご意見をまとめさせていただきますと、新しい英語の教科書のスタイルをまとった教科書が出てきているという印象があった、というお話があったかと思います。私もそのように感じております。様々な教科書のあり方が、具体的に示されていることは我々としてありがたいのですけれども、全体として見ますと、従前との継続性、小学校との継続性という視点も含めましてですね、三省堂の教科書を多くの委員から推薦されているというようになっております。結論的には、三省堂の教科書を採択してはどうかと思いますが、よろしいでしょうか。

### 【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは外国語につきましては、三省堂を採択いたします。次に特別の教科 道徳につきまして、諸角教育次長から報告をお願いします。

【諸角教育次長】

道徳の教科書を各社見比べて、サイズがB5版とA4版の2つに分かれていますが、開いて使う上ではサイズによるメリット・デメリットは協議するポイントとはなりません。むしろ、収録教材数については教員の選択の幅が広がるといった話がありました。また、別冊の有無についてもその利便性が各社それぞれ特徴を持っていることがわかりました。議論するための道徳教材という視点からも各社に特徴があり、例えば中心発問の設定数や単元毎の小見出し部分に内容項目に関する表記の有無しで、学習の方向性に影響が出るであろうことから、やはり各社の特徴とさせていただきました。

【土屋教育長】

それでは、特別の教科 道徳について、秦委員から意見をいただきたいと思います。

【秦委員】

私は日本教科書さんと日本文教出版を評価しました。日本教科書においては、問いが少なくシンプルであるということです。質問がシンプルなので生徒自身の考え方が色々出てくるのではないかとということと、違う意見を把握することによってこんな意見もあるんだな、ということを考えれる点で評価しました。それから日本文教出版ですが、いじめの防止であったり、安全の確保、防災防犯、交通安全、情報モラルなど、今非常に大事なところを取り上げているというところを評価させていただきました。

【堤教育長職務代理者】

日本文教出版、日本教科書、学研みらいを推薦したいと思います。日本文教出版につきましては、秦委員からご発言のあった通りかと思います。道徳は、時間配分が非常に難しいと思うのですが、そういう意味でも適切であり、系統的、発展的に学習できる構成になっていると思います。それとノートですけれども、国語だけではなく「書く」という力を育成するということと言えますと、このノートは発問も柔軟に設定できますし、子ども達が自分の考えをまとめて、それを自由に記載することができます。そういう点でも日本文教出版が良いと思います。日本教科書は、非常に共感型の教科書であると思います。どう生きるかという考えで、自分で自由に考えて発表する、話をする、そういうことが認められている教科書であると思います。「考え、話し合ってみよう、そして深めよう」というところについては、表現しやすい形で発問も作られていて、日本教科書を評価しております。各社「いじめ」についての特徴的な扱いがあると思いますけれど、学研みらいは、子ども達の気持ちを配慮し、大事にしたいという想いが感じられる教科書であると思っています。「クローズアップコーナー」というところにおいては、それまでの考える道徳の視点とはまた異なった、多様な学びへとつなげていくことができる教科書でもあることが、評価できます。

### 【村上委員】

私は日本文教出版と学研みらいの2社を推薦したいと思います。日本文教出版は、中心発問としては考えてみようというのが一つ、他に自分にプラスワンというのもあって、これだけに絞られておるということで扱いやすいのではないかと思います。それと別冊の道徳ノートが教科書と連動しており、使いやすい部分ではないかと思います。内容的には発問欄が空白で柔軟に対応できますし、振り返りに保護者の意見もありますので、議論してじっくりと考えることができるのではないかと思います。またいじめ問題を重点的に扱っていると思います。学研みらいの方は、こちら中心発問が考えようで2つほどに絞られているので、こちら扱いやすいのではないかと思います。それと巻末の方では、1年間の成長を書き止めるということで、心の四季、それから各学期の学びの記録というものがついておりますし、最後の3年生では未来への扉として、将来の自分へ手紙を書くというようなページもついていて、非常に良いのではないかと思います。また、先ほども堤委員が仰ったように、クローズアップや深めようといったところでは、より多様な学びに繋がるのではないかと、日本文教出版と学研みらいの2社を推薦したいと思います。

### 【山中委員】

私は日本文教出版を一番に選びました。中心発問が多くないこと、教材及び発問が精選されているところ、そして別冊の道徳ノートでは友人の意見を記入する欄が設けられており、対話的に学習ができ、そこに多くの気づきを入れられる部分があることを評価しました。また学研みらいも同様に、中心発問が多くないこと、教材及び発問が精選されていることを大変評価しております。

### 【土屋教育長】

では私の意見を申し述べさせていただきます。昨年の小学校道徳教科書の採択の際にもお話をさせていただきましたが、大きな方向性として、教材を元に方向性を教科書で枠にはめるようなことではない方がいいのではないかと。教材を通じて、自由に児童が考えられるような教材あるいは教科書の構成になっているのが望ましいのではないかと。結果的に、例えば発問等もできるだけシンプルで柔軟な発想を生むようなものが望ましいじゃないかと、こういう視点を確認しながら、小学校教科書採択を行ってきたと理解しております。基本的には、今申し上げましたような考え方で採択に臨んでおりまして、そしてそこから申し上げますと、今各委員からもお話ございましたように、具体的に申し上げますと、日本文教出版、それから学研みらい、この2社がふさわしいと考えております。この2社の比較で申し上げますと、少しご意見がありましたけれども、いじめに関する事項につきまして、日本文教出版が各学年ごとに充実した示し方をされておりまして、この点に関して、少し日本文教出版にアドバンテージがあるかと考えております。

それで各委員のご意見をまとめさせていただきますと、日本文教出版と学研みらい、2社に推薦のご意見が多いと理解をしております。2社のうちいずれかということになりますけれども、皆様方のご意見を聞いていると、やや日本文教出版を推す声が、勢いとしてはあるのかなと理解をしております。道徳の教科書につきましては、日本文教出版の教科書を採択してはどうかと思いますが、よろしいでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

それでは特別の教科 道徳の教科書につきましては、日本文教出版の教科書を採択いたします。

国語から道徳まで全部で16の教科書を採択して参りました。ここで改めまして、決定いたしました発行者名を申し上げて参りたいと思います。国語からが順次申し上げます。

国語については、光村図書

書写については、教育出版

地理については、東京書籍

歴史についても、東京書籍

公民については、帝国書院

地図についても、帝国書院

数学については、啓林館

理科についても、啓林館

音楽（一般）については、教育出版、

音楽（器楽合奏）についても教育出版

美術については、日本文教出版

保健体育については、学研みらい

技術家庭（技術分野）については、東京書籍

技術家庭（家庭分野）についても、東京書籍

外国語については、三省堂

特別の教科 道徳については、日本文教出版

以上でございます。本日予定いたしておりました議案審議はこれで終了いたしました。本日の会議はこの程度でとどめたいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

【各委員】

(異議なし)

【土屋教育長】

ご異議なしと認めます。それでは、次回の日程を事務局よりお願いいたします。

【事務局】

令和2年9月定例会につきましては、9月14日（月）午後2時より開催を予定しております。

【土屋教育長】

それではこれもちまして、令和2年度8月教育委員会臨時会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

会議録署名委員

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 東大阪市教育委員会教育長      | 土屋 宝土 |
| 東大阪市教育委員会教育長職務代理者 | 堤 晶子  |